

令和5年度 臨床統合試験問題

本試験(3)

令和6年2月5日(月)

注意事項

1. 指示があるまで問題冊子を開かないこと。
2. 問題冊子の学生番号・氏名欄を記入すること。
3. マークシートの番号、氏名欄は裏表紙の記入上の注意に従い、解答も含め鉛筆で記入すること。ボールペン等での記入、未・誤記入の解答は無効です。
4. この問題冊子は試験終了後回収するので持ち帰らないこと。
5. 問題は5肢単純択一形式、X2形式(「2つ選べ」)およびX3形式(「3つ選べ」)です。消し忘れ等不明瞭な解答は無効です。

学生番号	氏 名
B M	

臨床統合試験問題

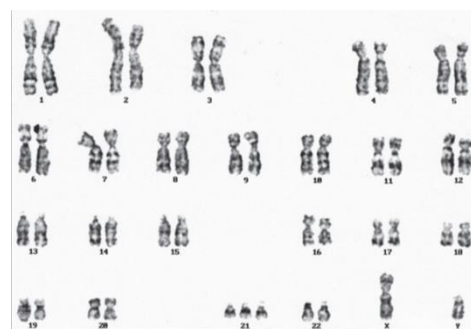
第 1 問

日齢 14 の男児。染色体検査の結果説明のため両親とともに来院した。在胎 39 週、出生体重 2,800 g、Apgar スコア 8 点(1 分)、9 点(5 分)で出生した。

体重 3,300 g。体温 36.5 °C。心拍数 120/分。呼吸数 40/分。SpO₂ 98 % (room air)。切れ上がった目、平坦で低い鼻、口外に突き出た舌などの顔貌異常を認める。心音に異常はなく心雑音も認めない。呼吸音に異常を認めない。軽度の腹部膨満を認める。手掌単一屈曲線を認め、筋緊張低下を認める。染色体検査を別に示す。

この患児に今後合併する可能性が高いのはどれか

1. 脳性麻痺
2. Wilms 腫瘍
3. 滲出性中耳炎
4. 難治性下痢症
5. 甲状腺機能低下症



臨床統合試験問題

第 2 問

日齢 0 の新生児。妊娠 31 週から胎児発育不全を指摘されていた。在胎 38 週に体重 1,890 g で出生した。低出生体重児のため NICU に入院した。啼泣は弱かったが多呼吸のため保育器内に収容して酸素を投与した。眼裂狭小、小さな口、小下顎などの特徴的顔貌を認めた。また、手指の重合と屈曲拘縮、ゆり椅子状の足底を認めた。全身の筋緊張は亢進していた。

この患児にあてはまるのはどれか。

1. 生命予後は良い。
2. 発達遅滞をきたす。
3. 心疾患は合併しにくい。
4. 急性白血病を合併しやすい。
5. 甲高い泣き声の特徴的である。

臨床統合試験問題

第 3 問

精神発達遅滞をきたす疾患はどれか。3 つ選べ。

1. 13trisomy
2. Marfan 症候群
3. Angelman 症候群
4. Prader-Willi 症候群
5. Mallory-Weiss 症候群

臨床統合試験問題

第 4 問

18trisomy について正しいものを選べ。

1. 約 95 %は自然流産する
2. モザイク型が最も多い
3. 生命予後は良い
4. 発症頻度は 21trisomy よりも多い
5. 発達遅滞は通常認めない

臨床統合試験問題

第 5 問

7 歳の男児。意思の疎通がとれないことを心配した両親に伴われて来院した。乳児期からあやされても喜ばず、3 歳まで有意語がなかった。現在、日常会話はかろうじて可能だが、相手の言葉に対するオウム返しが多い。興味の対象が限られ、それに執着する傾向があり、決まった遊びをいつまでも繰り返す。いつもと違う状況になると不安になり大騒ぎする。IQ は 49。運動発達は良好である。

この患児で考えられるのはどれか。2 つ選べ。

1. 人格障害
2. 学習障害
3. 知的障害
4. 自閉スペクトラム症
5. 注意欠如多動症 (ADHD)

臨床統合試験問題

第 6 問

8か月の男児。最近笑わなくなったことを心配した両親に連れられて来院した。在胎 39 週 3 日、出生体重 3,240 g、Apgar スコア 8 点 (1 分)、10 点 (5 分) で出生した。あやし笑いを 2 か月で、定頸を 3 か月で、お坐りを 7 か月で獲得した。1 か月前から笑うことが少なく表情が乏しくなり、次第に坐位が不安定になってきた。週間前から頭部を前屈するとともに四肢を一瞬屈曲する動作を 10 秒程度の間隔で 20 回ほど繰り返すことが、毎日見られるようになった。この動作の後には泣くことが多い。

可能性が高いのはどれか。

1. West 症候群
2. 欠神てんかん
3. 憤怒けいれん
4. Lennox-Gastaut 症候群
5. 中心・側頭部に棘波を持つ良性小児てんかん

臨床統合試験問題

第 7 問

6 歳の男児。けいれんのため搬入された。5 日前に発熱と咽頭痛とを認め、伝染性単核球症と診断されていた。本日、早朝に全身のけいれんを認めたため救急搬送された。来院時、けいれんはなく意識は清明。体温 38.5 °C。脈拍 120/分、整。呼吸数 24/分。心音と呼吸音とに異常を認めない。肝を右季肋下に 4 cm、脾を左季肋下に 5 cm 触知する。尿中 2-マイクログロブリン 23,000 g/L(基準 230 以下)。血液所見:Hb12.1 g/dL、白血球 2,200(状核好中球 34 %、分葉核好中球 38 %、単球 3 %、リンパ球 15 %、異型リンパ球 10 %),血小板 6.0 万、APTT45.2 秒(基準対照 32.2)、血清 FDP80 g/mL(基準 10 以下)、D ダイマー30 g/mL(基準 1.0 以下)。血液生化学所見:AST 386 IU/L、ALT 341 IU/L、LD 2,594 IU/L(基準 176~353)、フェリチン 5,000 ng/mL(基準 28~280)。

治療薬はどれか。

1. アシクロビル
2. ビンクリスチン
3. テトラサイクリン
4. 副腎皮質ステロイド
5. トシリズマブ(ヒト化抗 IL-6 受容体モノクローナル抗体)

臨床統合試験問題

第 8 問

疾患と治療薬の組合せで正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. West 症候群 — ACTH
2. 憤怒けいれん — バルプロ酸ナトリウム
3. 複雑分発作 — ビタミン B₆
4. 単純型熱性けいれん — フェニトイン
5. Lennox-Gastaut 症候群 — クロナゼパム

臨床統合試験問題

第 9 問

幼児期に発症し思春期までに多くが自然寛解するのはどれか。

1. 片頭痛
2. 過換症候群
3. 起立性調節障害
4. 神性食思不症
5. アセトン血性嘔吐症

臨床統合試験問題

第 10 問

フェニルケトン尿症で誤っているのはどれか。

1. フェニルアラニン水酸化酵素の先天性欠損により生じる。
2. 食事療法が有効である。
3. 治療は幼児期から開始する。
4. 無治療の場合、けいれんや知的障害を生じる。
5. 新生児マススクリーニング対象疾患である。

臨床統合試験問題

第 11 問

新生児マススクリーニングの対象疾患はどれか。3 つ選べ。

1. メープルシロップ尿症
2. メチルマロン酸血症
3. ゴーシェ病
4. 副腎白質ジストロフィー
5. ガラクトース血症

臨床統合試験問題

第 12 問

高アンモニア血症をきたす疾患はどれか。

1. Gaucher 病
2. von Gierke 病
3. Hurler 症候群
4. メープルシロップ尿症
5. オルニチントランスカルバミラーゼ欠損症

臨床統合試験問題

第 13 問

在胎 42 週 0 日、体重 4,000 g で出生した新生児。

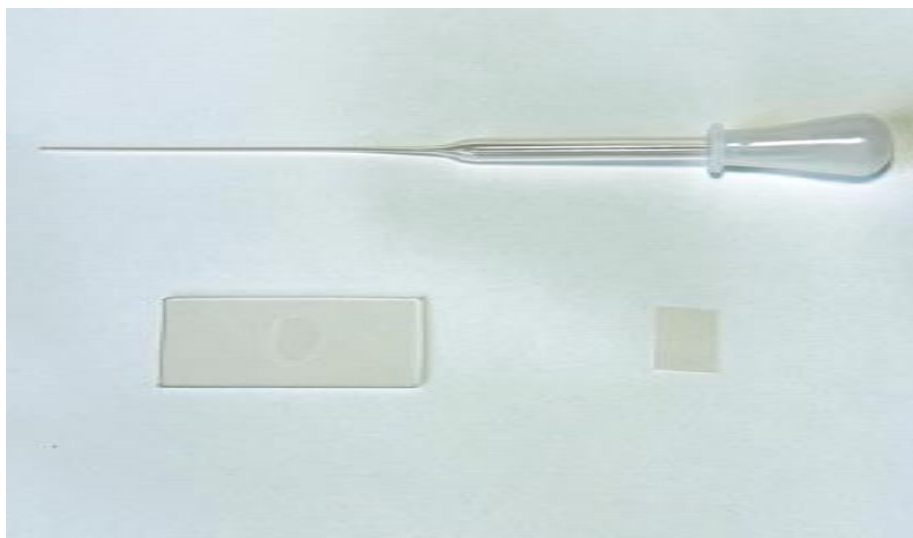
該当するのはどれか。2 つ選べ。

1. 巨大児
2. 早産児
3. 正期産児
4. 過期産児
5. 低出生体重児

臨床統合試験問題

第 14 問

生後 1 時間の男児。在胎 30 週、体重 1,200g、Apgar スコア 6 点(1 分)、8 点(5 分)で出生した。母親は 28 歳の初産婦。胎児心拍数陣痛図で遅発一過性徐脈を認めたため、緊急帝王切開が行われた。出生後、第 1 呼吸を認めたが、蘇生台で処置中に浅い呼吸を認めるようになり、NICU 内の哺育器に収容した。体温 36.5℃。心拍数 148/分、整。呼吸数 90/分。SpO₂ 97 % (哺育器内の酸素濃度 30 %)。心音に異常を認めない。呼吸音は左右差なく肺胞呼吸音を聴取する。胸骨上窩と季肋下とに陥没呼吸を認める。胃液を用いて検査を行ったところ、結果は「zero」であった。検査の際に用いた器具の写真を次に示す。



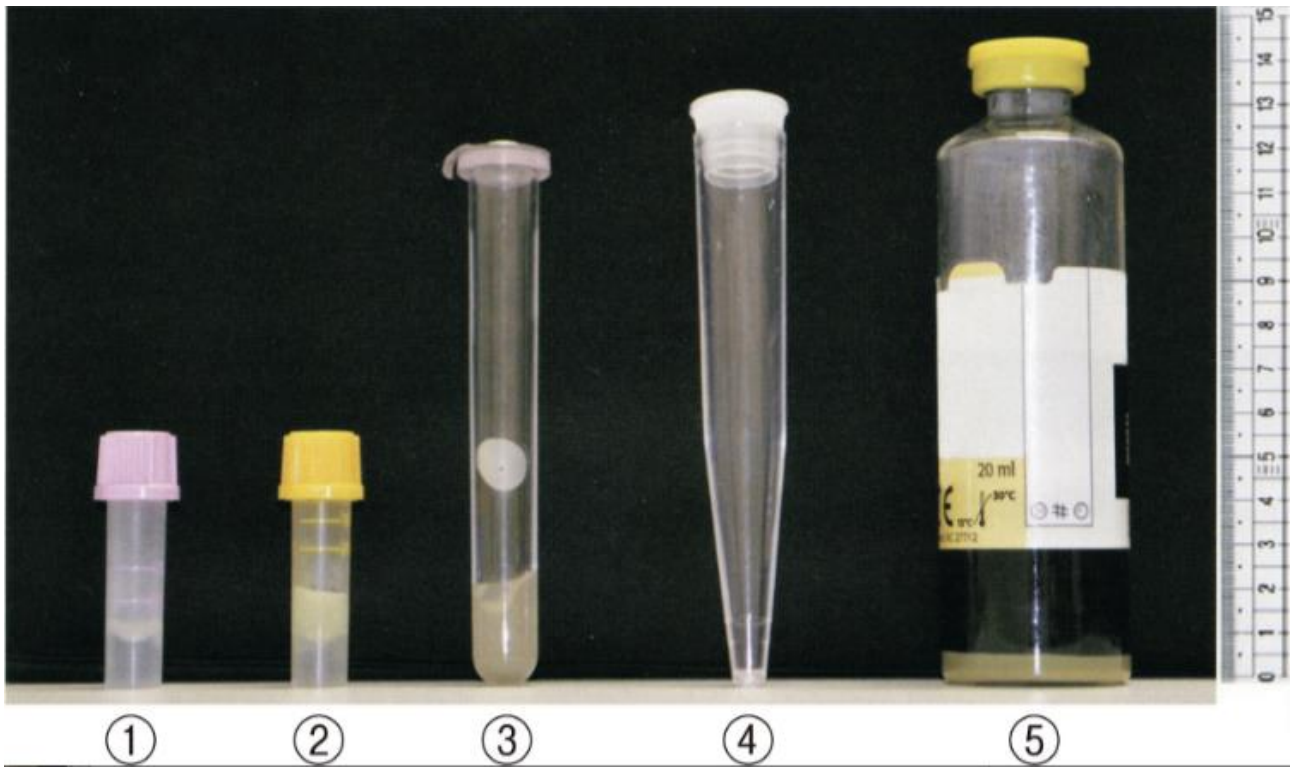
検査結果を踏まえた対応として適切なのはどれか。

1. 胃洗浄
2. 抗菌薬投与
3. インドメタシン投与
4. デキサメタゾン投与
5. 肺サーファクタント気管内投与

臨床統合試験問題

第 15 問

NICU に入院している日齢 2(在胎 30 週 2 日)の新生児。発熱を認め、活気がないため敗血症を疑い、血液一般検査と静脈血血液培養検査をすることとなった。検体提出のために必要な物品の写真を次に示す。正しいのはどれか。2 つ選べ。



1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤

臨床統合試験問題

第 16 問

出生直後の新生児。生後 1 分の時点で、全身にチアノーゼを認め、心拍数 50 回/分、呼吸は不規則で、刺激に対して顔をしかめるが全身がだりとしていた。新生児蘇生を行い、生後 5 分の時点で、四肢末梢にのみチアノーゼを認め、心拍数 120 回/分、呼吸は不規則で、刺激に対して啼泣あり、四肢を活発に動かしていた。

生後 1 分と 5 分の Apgar スコアの組合せで正しいのはどれか。

1. 1 分値 2 点、5 分値 6 点
2. 1 分値 2 点、5 分値 7 点
3. 1 分値 2 点、5 分値 8 点
4. 1 分値 3 点、5 分値 7 点
5. 1 分値 3 点、5 分値 8 点

臨床統合試験問題

第 17 問

日齢 3 の男児。軽度の腹部膨満を認めると看護師から指摘があった。在胎 40 週、3,100g で出生。①胎便排泄は生後 48 時間に認められた。②体重 2,950g。体温 37.0℃。心拍数 136/分、整。血圧 74/46 mmHg。呼吸数 40/分。③大泉門は 2×2cmであった。④皮膚は黄疸を認める。腹部は⑤肝臓を右季肋下に 1 cm 触知した。

下線部のうち異常所見はどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤

臨床統合試験問題

第 18 問

正期産児における体重増加不良の所見はどれか。

1. 生後1週で出生時体重に回復
2. 生後 1 か月の体重増加が1日15g
3. 生後 3 か月で出生時体重の 2 倍
4. 生後 9 か月時の Kaup 指数16
5. 1歳で出生時体重の 3 倍

臨床統合試験問題

第 19 問

生後 7 日の新生児。哺乳不良と不活発のため救急外来を受診した。在胎 38 週、出生体重 2,580g で出生し、日齢 4 に産科医院を退院した。皮膚は浅黒い。膣はあるが、陰核が大きく発達して、一見男児の外性器様である。

この患児の血中で低下が予想されるのはどれか。2 つ選べ。

1. 血糖
2. ナトリウム
3. カリウム
4. ACTH
5. 17α -ヒドロキシプロゲステロン

臨床統合試験問題

第 20 問

2 か月の乳児。喘鳴を主訴に母親に連れられて来院した。在胎 39 週 3 日、体重 2,750 g で出生した。出生直後から啼泣時に軽度の喘鳴を認めていたが、その後、安静時にも喘鳴を認めるようになった。2 日前から哺乳時に喘鳴が増強し哺乳量が低下したという。体重 4,560 g。体温 36.6 °C。心拍数 110/分、整。呼吸数 36/分。SpO₂ 98 % (room air)。胸骨上窩に陥没呼吸を認め、吸気時に喘鳴を認める。RS ウイルス抗原迅速検査は陰性であった。胸部 X 線写真で異常を認めない。

可能性が高い疾患はどれか。

1. 心不全
2. 乳児喘息
3. 喉頭軟化症
4. 急性細気管支炎
5. クループ症候群

臨床統合試験問題

第 21 問

緊張性気胸で正しいのはどれか。

1. ほとんどが血胸を合併する。
2. 胸部 X 線写真では健側肺が過膨張となる。
3. 胸腔内圧は低下する。
4. 心拍出量は低下する。
5. 緊急肺部分切除術を行う。

臨床統合試験問題

第 22 問

小児の心拍について正しいのはどれか。

1. 小学生の心拍数 100/分は頻脈に分類される。
2. 甲状腺機能亢進症では徐脈を呈する。
3. 無症状の上室性期外収縮は治療不要である。
4. 心室期外収縮はヒス束より上部での刺激で起こる。
5. 乳児の電気軸 -120° は右軸偏位である。

臨床統合試験問題

第 23 問

先天性心疾患で連続性雑音を聴取するのはどれか。2 つ選べ。

1. 動脈管開存症
2. 心室中隔欠損症
3. 肺動脈弁狭窄症
4. 大動脈弁閉鎖不全症
5. 先天性冠状動脈瘻

臨床統合試験問題

第 24 問

左室にかかる前負荷が低下するのはどれか。

1. 僧帽弁狭窄症
2. 大動脈弁狭窄症
3. 三尖弁閉鎖不全症
4. 僧帽弁閉鎖不全症
5. 大動脈弁閉鎖不全症

臨床統合試験問題

第 25 問

II 音の奇異性分裂をきたすのはどれか。

1. 動脈管開存症
2. 肺動脈弁狭窄症
3. 心室中隔欠損症
4. 心房中隔欠損症
5. 完全左脚ブロック

臨床統合試験問題

第 26 問

胃食道逆流＜GERD＞の症状で生じにくいのはどれか。

1. 胸痛
2. 下痢
3. 吞酸
4. 咽頭痛
5. 慢性咳嗽

臨床統合試験問題

第 27 問

低位鎖肛で、まず行うべき治療として適切なのはどれか。

1. 会陰切開
2. 尿道ブジー
3. 膀胱瘻造設
4. 人工肛門造設
5. 一期的根治手術

臨床統合試験問題

第 28 問

次のうち特別な検査や処置を必要としないのはどれか。

1. 肝を肋骨弓下に 4 cm 触知する生後 1 か月の女兒。
2. 毎回灰白色の便が出るという生後 1 か月の女兒。
3. 眼球結膜と皮膚の黄染を認める生後 2 か月の女兒。
4. 母乳から人工栄養に変えた途端に血便がみられた生後 2 か月の男児。
5. これまで便の色が黄色であったが今朝から緑色となった生後 2 週間の男児。

臨床統合試験問題

第 29 問

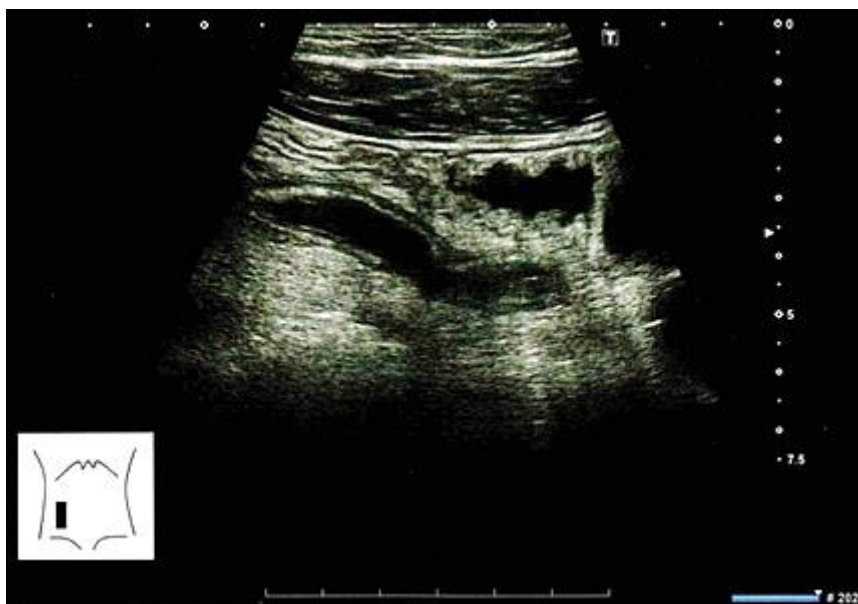
肺低形成を合併する胎児疾患はどれか。

1. 水頭症
2. 二分脊椎
3. 臍帯ヘルニア
4. 横隔膜ヘルニア
5. 先天性食道閉鎖症

臨床統合試験問題

第 30 問

11 歳の男児。右下腹部痛を主訴に母親に連れられて来院した。朝からみぞおち付近の不快感を自覚していたが、学校に登校した。給食後に嘔吐し、腹痛が次第に増強したため受診した。体温 38.5 °C。脈拍 108/分、整。血圧 118/62 mmHg。呼吸数 22/分。SpO₂ 99 % (room air)。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は右下腹部に局限した圧痛を認め、筋性防御を認める。血液所見：赤血球 430 万、Hb 12.6 g/dL、Ht 40 %、白血球 13,500、血小板 25 万。血液生化学所見：総蛋白 6.8 g/dL、アルブミン 4.0 g/dL、AST 20 U/L、ALT 10 U/L、尿素窒素 12 mg/dL、クレアチニン 0.5 mg/dL、Na 140 mEq/L、K 4.0 mEq/L、Cl 102 mEq/L、CRP 8.2 mg/dL。腹部超音波像を次に示す。



この患者で予測される身体所見はどれか。

1. Dance 徴 候
2. Murphy 徴候
3. Rosenstein 徴候
4. Courvoisier 徴候
5. Grey-Turner 徴候

臨床統合試験問題

第 31 問

悪性貧血で見られるのはどれか。

1. 胆石
2. 脾腫
3. 異食症
4. 嚥下障害
5. 萎縮性胃炎

臨床統合試験問題

第 32 問

38 歳女性。Basedow 病のため、チアマゾールを内服している。今朝から咽頭痛があり、夕方から悪寒が始まったと救急外来に受診した。体温 39.3 °C、心拍数 120/分、呼吸数 32/分、SpO₂ 98 % (room air)。血液所見：赤血球 450 万、ヘモグロビン 11.5 g/dL、Ht 47 %、白血球 2,000(分葉核好中球 12 %、桿状核好中球 1 %、リンパ球 78 %、単球 6 %、好酸球 3 %)、血小板 17 万。

この患者への対応で正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 経過観察
2. 血液培養
3. メロペネム投与
4. アセトアミノフェン投与
5. インフルエンザ迅速抗原検査

臨床統合試験問題

第 33 問

原発性骨髄線維症で見られるのはどれか。

1. 鎌状赤血球
2. 球状赤血球
3. 楕円赤血球
4. 標的赤血球
5. 涙滴赤血球

臨床統合試験問題

第 34 問

14 歳の男子。学校検尿で尿蛋白をしてきされ来院した。第1次検査と第2次検査の結果を次に示す。受診結果が判明するまでは、部活動顧問教諭からバスケット部の活動を中止するよう指示されている。自覚症状はない。身長 165cm、体重 50kg。血圧 110/66 mmHg。眼瞼に浮腫を認めない。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。早朝尿所見：蛋白(+) (9 mg/dL)、潜血(+)。随時尿所見：蛋白 3+ (560 mg/dL)、潜血(+)。血液検査所見と血液生化学所見とに異常を認めない。腎超音波検査で異常を認めない。

適切な生活指導はどれか。

尿検査結果報告書

この度、実施いたしました尿検査の結果は次の通りです。医師の受診をお勧めいたします。その際には、この尿検査結果報告書をお持ちください。

総合判定	第1次検査	第2次検査																												
(✓) 蛋白尿	<div>早朝尿</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>検査項目</th> <th>蛋白</th> <th>糖</th> <th>潜血</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>判定</td> <td>1 +</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	検査項目	蛋白	糖	潜血	判定	1 +	-	-	<div>早朝尿</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>検査項目</th> <th>蛋白</th> <th>蛋白定量</th> <th>糖</th> <th>潜血</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>判定</td> <td>-</td> <td>7mg/dL</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <div>新鮮尿</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>検査項目</th> <th>蛋白</th> <th>蛋白定量</th> <th>糖</th> <th>潜血</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>判定</td> <td>3 +</td> <td>325mg/dL</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	検査項目	蛋白	蛋白定量	糖	潜血	判定	-	7mg/dL	-	-	検査項目	蛋白	蛋白定量	糖	潜血	判定	3 +	325mg/dL	-	-
検査項目	蛋白	糖	潜血																											
判定	1 +	-	-																											
検査項目	蛋白	蛋白定量	糖	潜血																										
判定	-	7mg/dL	-	-																										
検査項目	蛋白	蛋白定量	糖	潜血																										
判定	3 +	325mg/dL	-	-																										
() 血尿		<div>尿沈渣</div> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>赤血球</td> <td>0-1 視野</td> </tr> <tr> <td>白血球</td> <td>0-1 視野</td> </tr> <tr> <td>扁平上皮</td> <td>0-1 視野</td> </tr> <tr> <td>硝子円柱</td> <td>0-1 視野</td> </tr> </tbody> </table>	赤血球	0-1 視野	白血球	0-1 視野	扁平上皮	0-1 視野	硝子円柱	0-1 視野																				
赤血球	0-1 視野																													
白血球	0-1 視野																													
扁平上皮	0-1 視野																													
硝子円柱	0-1 視野																													
() 白血球尿		<div>尿沈渣</div> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>赤血球</td> <td>0-1 視野</td> </tr> <tr> <td>白血球</td> <td>0-1 視野</td> </tr> <tr> <td>扁平上皮</td> <td>0-1 視野</td> </tr> <tr> <td>硝子円柱</td> <td>0-1 視野</td> </tr> </tbody> </table>	赤血球	0-1 視野	白血球	0-1 視野	扁平上皮	0-1 視野	硝子円柱	0-1 視野																				
赤血球	0-1 視野																													
白血球	0-1 視野																													
扁平上皮	0-1 視野																													
硝子円柱	0-1 視野																													
() 糖尿																														
() その他																														

臨床検査センター

1. 「入院が必要です」
2. 「自宅安静が必要です」
3. 「体育実技は見学してください」
4. 「軽い運動だけ参加してください」
5. 「運動制限は必要ありません」

臨床統合試験問題

第 35 問

代謝性アシドーシスをきたす疾患はどれか。

1. Bartter 症候群
2. 原発性アルドステロン症
3. Dent 病
4. Fanconi 症候群
5. Gitelman 症候群

臨床統合試験問題

第 36 問

慢性腎不全が進行するとみられる病態はどれか。2つ選べ。

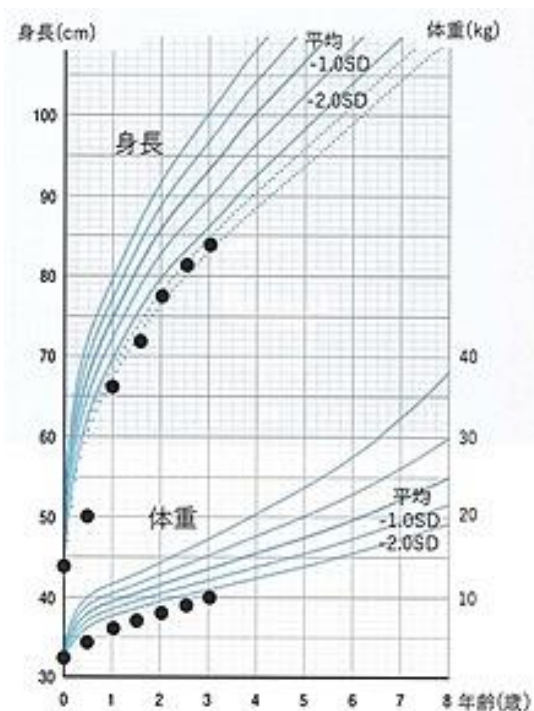
1. 高カリウム血症
2. 低尿酸血症
3. 代謝性アルカローシス
4. 貧血
5. 低補体血症

臨床統合試験問題

第 37 問

3 歳 1 か月の男児。3 歳児健康診査で低身長を指摘され両親に連れられて受診した。在胎 35 週 3 日、母体妊娠高血圧症候群のため緊急帝王切開で出生した。出生体重 2,160 g(>10 パーセンタイル)、身長 44.0 cm(>10 パーセンタイル)。早産と低出生体重児のため 2 週間 NICU に入院した。NICU 入院後 2 日間は哺乳不良を認めた。1 歳 6 か月児健康診査で歩行可能であり、「ママ」などの有意語は数語認められた。低身長、低体重のため 6 か月ごとの受診を指示されていたが受診していなかった。偏食はなく保育園で他の同年齢の子どもと比較して食事量は変わらない。自分の年齢、氏名を答えることができる。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。外性器異常は認めない。父の身長は 175 cm、母の身長は 160 cm。患児の成長曲線を別に示す。

可能性が高い疾患はどれか。



1. クレチン症
2. Cushing 症候群
3. Prader-Willi 症候群
4. 成長ホルモン分泌不全性低身長症
5. SGA 性低身長 (small-for-gestational-age)

臨床統合試験問題

第 38 問

我が国の新生児マススクリーニングで発見率が最も高いのはどれか。

1. 先天性甲状腺機能低下症
2. 先天性副腎皮質過形成症
3. フェニルケトン尿症
4. ホモシスチン尿症
5. ガラクトース血症

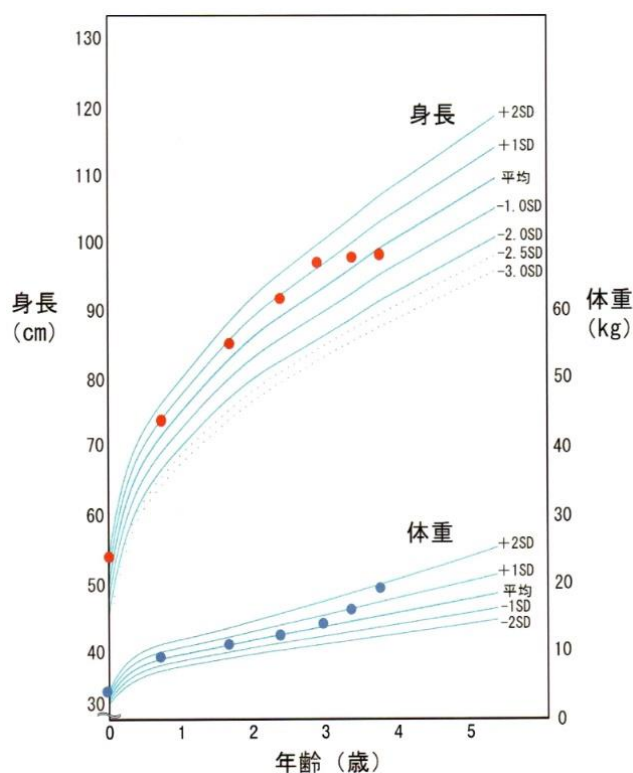
臨床統合試験問題

第 39 問

3 歳の男児。急激な体重増加を主訴に父親に連れられて来院した。身長 98 cm、体重 19 kg。体温 36.5 °C。脈拍 120/分、整。血圧 136/88 mmHg。呼吸数 28/分。SpO₂ 100 % (room air)。肥満あり。顔面、頸部、体幹および背部を中心に脂肪の蓄積を認めるが、上下肢は細い。全身の多毛と下腹部の皮膚線条とを認める。血液生化学所見：血糖 122 mg/dL、HbA1c 5.7 % (基準 4.6～6.2)、総コレステロール 332 mg/dL、トリグリセリド 257 mg/dL、Na 143 mEq/L、K 3.6 mEq/L、Cl 105 mEq/L、Ca 9.4 mg/dL、P 3.7 mg/dL、ACTH < 1.5 pg/mL (基準 60 以下)、コルチゾール 26.1 μg/dL (基準 5.2～12.6)。患児の成長曲線を別に示す。

この患児の病態を生じる基礎疾患として最も考えられるのはどれか。

1. 下垂体腺腫
2. 副甲状腺腫
3. 褐色細胞腫
4. 副腎腺腫
5. 甲状腺腫



臨床統合試験問題

第 40 問

ゴナドトロピン依存性思春期早発症について正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 女児では特発性の場合が多い。
2. 女児より男児の割合が多い。
3. 視床下部過誤腫に合併する。
4. 先天性副腎過形成症に合併する。
5. 治療にアロマターゼ阻害薬を使用する。

臨床統合試験問題

第 41 問

1 型糖尿病と診断され、インスリン治療を実施している 14 歳、男性。数日前よりインスリン投与を自己中断し、意識状態の悪化を認め、当院へ搬送された。受診時、体重は普段より 10 %減少し、心拍数 130 回/分、呼吸数 35 回/分で深い呼吸をしていた。血液検査では、血糖値 600 mg/dL、pH 7.15、 HCO_3^- 8.4 mmol/L、Anion gap 27 mmol/L であった。糖尿病性ケトアシドーシスと判断し、生理食塩水の輸液を 10 ml/kg/時で実施し、血糖値は 400 mg/dL まで低下した。

次に行う処置として適切なものはどれか。

1. pH の改善を目的に、重炭酸ナトリウムの補充を行う。
2. 急速な血糖低下を防ぐため、10 %ブドウ糖液の静注を行う。
3. 血糖低下を急ぐため、超速効型インスリン 0.5 単位/kg を静注する。
4. 血糖低下を進めるため、速攻型インスリン 0.1 単位/kg/時間の少量点滴静注を行う。
5. 血糖低下を促進するため、SGLT2 阻害薬を使用する。

臨床統合試験問題

第 42 問

病態や疾患と欠乏が疑われる微量元素やビタミンとの組合せで正しいのはどれか。

1. 匙状爪 - 銅
2. 味覚異常 - 亜鉛
3. 出血傾向 - ビタミン A
4. ペラグラ - ビタミン B₂
5. 骨軟化症 - ビタミン C

臨床統合試験問題

第 43 問

小麦による食物依存性運動誘発アナフィラキシーの患者に対する指導として最も適切なのはどれか。

1. 運動の禁止
2. 小麦の完全除去
3. 抗ヒスタミン薬の予防内服
4. アドレナリン自己注射の携帯
5. 運動前の β_2 刺激薬吸入

臨床統合試験問題

第 44 問

8 歳の男児。足首の痛みと足背の皮疹とを主訴に両親に連れられて来院した。3 日前から足背と下腿に皮疹が出現し、昨日から腹痛と足関節痛を訴えている。体温 36.5 °C。脈拍 76/分、整。血圧 90/54 mmHg。両側の足背に皮疹を認める。眼球結膜に異常を認めない。咽頭発赤なし。頸部リンパ節を触知しない。心音と呼吸音に異常を認めない。腹部は平坦、軟で、臍周囲に軽度圧痛を認める。右足の皮膚所見を次に示す。

この患児で最も考えられるのはどれか。



1. 川崎病
2. 血友病
3. IgA 血管炎
4. 若年性特発性関節炎
5. 血栓性微小血管障害症

臨床統合試験問題

第 45 問

ウイルスに初感染した際に感染初期から働く免疫担当細胞はどれか。2 つ選べ。

1. B 細胞
2. T 細胞
3. NK 細胞
4. 形質細胞
5. マクロファージ

臨床統合試験問題

第 46 問

低補体血症をきたす疾患はどれか。

1. 巨細胞性動脈炎
2. クリオグロブリン血症性血管炎
3. 結節性多発動脈炎
4. 顕微鏡的多発血管炎
5. 高安動脈炎(大動脈炎症候群)

臨床統合試験問題

第 47 問

慢性肉芽腫症で正しいものはどれか。2 つ選べ。

1. 乳児期後期に発症する。
2. 好中球数が低下する。
3. ウイルス感染症は重症化する。
4. NBT 色素還元試験は陰性である。
5. BCG 接種は禁忌である。

臨床統合試験問題

第 48 問

4 か月の男児。鼻汁と咳嗽を主訴に両親に連れられて来院した。昨日から鼻汁、咳嗽および喘鳴が出現した。在胎 36 週 1 日、2,466g で出生した。低出生体重児のため NICU に 3 週間入院した。3 歳の兄が 1 週間前から鼻汁を認めていた。母乳栄養で哺乳は普段と変わらない。身長 64.3 cm、体重 7,220 g、体温 36.8 °C。心拍数 120/分、呼吸数 50/分。SpO₂ 98 %(room air)。心音に異常を認めない。呼吸音は喘鳴を認めるが陥没呼吸は認めない。腹部は軽度膨隆を認める。毛細血管再充満時間の延長はない。鼻腔 RS ウイルス迅速検査は陽性だった。

対応として正しいのはどれか。

1. 経過観察
2. 抗菌薬投与
3. 抗ウイルス薬投与
4. ガンマグロブリン投与
5. ヒト化モノクローナル抗体投与

臨床統合試験問題

第 49 問

小児のマイコプラズマ感染症に適切な抗菌薬はどれか。

1. ペニシリン系抗菌薬
2. セフェム系抗菌
3. マクロライド系抗菌薬
4. テトラサイクリン系抗菌薬
5. カルバペネム系抗菌薬

臨床統合試験問題

第 50 問

ツツガムシ病について正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 蚊を媒介とする
2. 病原体はリケッチアである
3. 抗真菌薬で治療する
4. 都市部で多く発生する
5. 皮膚に刺し口を認めることがある

臨床統合試験問題

第 51 問

溶連菌感染症との鑑別で伝染性単核球症を最も強く示唆するのはどれか。

1. 頭痛
2. 発熱
3. 咽頭発赤
4. 乾性咳嗽
5. 後頸部リンパ節腫脹

臨床統合試験問題

第 52 問

5 か月の男児。数日前から便秘があり、今朝から哺乳量が低下したため母親に連れられて来院した。周産期に異常なく、4 か月健康診査までの成長、発達は良好であった。完全母乳栄養だが、最近になり蜂蜜を与えている。来院時、視線は合うものの表情に乏しく、眼瞼下垂と瞳孔散大を認め、対光反射は両側で遅延している。頸部の姿勢保持が困難で、四肢の腱反射は消失している。最も考えられる疾患はどれか。

1. 脳性麻痺
2. 重症筋無力症
3. ボツリヌス症
4. 先天性ミオパチー
5. Werdnig-Hoffmann 病

マークカード記入上の注意（100問用）

- ① 記入にはHBの鉛筆を使用すること。
- ② 「氏名」欄に氏名を記入すること。
- ③ 「番号」欄は7ケタあります。

左から順に

1 ケタ 在籍年次 (5)

2・3ケタ 入学年度の西暦下2ケタ

4～7ケタ 学科・専攻番号（1）、個人番号（3ケタ）計4ケタ

(記入例下参照)

- ④ 1 から 100 までの標示のある欄が各問題の回答欄です。
1 から 50 問までと 51 ～ 100 問までの 2 段になっています。
- ⑤ 記載内容・マークの仕方に不備や間違いがあった場合は採点されませんので十分注意してください。解答の消し残し、択一問題の二重マークは採点から除外します。
- ⑥ 受験番号（学生番号）の記入誤りと鉛筆以外の記入は採点対象外となる場合がありますので注意願います。

【記入例】 令和元年度入学（西暦2019年）医学科5年次105番の場合
（参考：学生番号 B19M1105X）

5 1 9 1 1 0 5

↑ └───┘ ↑ └───┘

学年 入学年度 学科・専攻 個人番号

1 : 医学科
3 : 保健看護学専攻

[illegible]